



秋

2021

vol 156

観光
たかさき
KANAKO
TAKASAKI



古の趣に歩いて親しむ
三碑をめぐり、
歴史ロマンを探検！



写真: 山上碑・山上古墳

こうずけさんび

上野三碑×ウォーキング

ユネスコ「世界の記憶」を 歩いて楽しもう！



2017年ユネスコ「世界の記憶」に登録された「上野三碑」。それぞれの石碑の歴史的価値はもちろんのこと、国内でも18例しか現存しない古代の石碑が3つ集中している点も注目を集めています。渡来文化に通じる人々がいた痕跡ともいえます。これらを守り繋いできた土地の魅力を探するため、今回は石碑とその周辺を探索します。

上野三碑のキホン

群馬県(古代の上野国※)の高崎市南部にある、1300年前の飛鳥時代から奈良時代に地域の人々によって建てられた、山上碑(やまのうえひ)・多胡碑(たごひ)・金井沢碑(かないざわひ)の総称です。

上野三碑は東アジアにおける人と文化の交流、さまざまな人々が共生する社会の大切さなどを今の私たちに伝えています。中国を起源とする漢字や政治の制度、インドを発祥の地とする仏教が日本に伝来し、この上野国にも伝えられて、東国の高い文化が育まれたことを示しています。

3つの碑は、大正10年(1921年)に国の史蹟(史跡)に指定され、昭和29年(1954年)には、国宝と同格の特別史蹟になりました。

※飛鳥時代の群馬県地域は「上毛野国(かみつけのくに)」でしたが、奈良時代に「上野国(かみつけのくに)」に改められました。その後「上野国(こうずけのくに)」と呼ばれるようになりました。



山上碑

681年建立。放光寺(ほうこうじ)の僧が母の供養のために建てたもので、完全な形で残っている石碑としては日本最古のものです。石碑の隣にある古墳に母親は埋葬されたと考えられています。



多胡碑

711年頃建立。上野国に新しく「多胡郡」が置かれることになった記念に造られたもの。大陸伝来の書風を残すため書道史でも評価されています。



金井沢碑

726年建立。先祖を供養し、一族の結束を固め繁栄を祈る内容を記したものの。仏教思想や行政制度の普及をうかがい知ることができます。

周辺 マップ



山上碑

【所在地】高崎市山名町字山神谷2104
JR高崎駅から上信電鉄「西山名駅」または「山名駅」下車。徒歩20分。
◎長い階段あり。トイレ・水道あり。
※無料駐車場12台(大型不可)



金井沢碑

【所在地】高崎市山名町金井沢2334
JR高崎駅から上信電鉄「根小屋駅」下車。徒歩10分。
◎トイレ・水道あり。
※無料駐車場20台(大型可)



多胡碑

【所在地】高崎市吉井町池1095
JR高崎駅から上信電鉄「吉井駅」下車。徒歩30分。タクシー5分。
上信越自動車道 吉井ICより7分。
JR高崎駅からタクシー12分。
◎トイレ・水道あり。
※多胡碑記念館あり
※無料駐車場あり(大型可)



ファミリーで楽しめる、「上野三碑めぐりバス」もどうぞ

高崎市では、上野三碑を見学される方のため無料巡回バスを運行しています。バスは定期的に運行し、吉井駅、山名駅にも停車するので、効率よい石碑めぐりも計画できます。上野三碑のデザインラッピングを施したバス(ジャンボタクシー)を見つけたら、ぜひご利用ください。



上野三碑めぐりバス



--- めぐりバス巡回ルート
● めぐりバス停留所
乗車定員:9名
運行日:毎日(1/1を除く)
問合せ:上信ハイヤー(株)
TEL.027-322-1212



駅からウォーキング



三碑をめぐる探検に出掛けよう!!

上野三碑はどれも遊歩道や休憩所が整備され、誰でも気軽に訪れることができます。古の趣を残す自然のなかで守られてきた記憶。車で行けばすぐの場所ですが、あえて歩いて探すというはどうでしょう。コロナ禍で思うように遠出できない現在、ウォーキングしながら小さな探検へと出掛けましょう。今回は近くの駅から出発し、しっかり山歩きコースから田舎道をのんびりゆくコースまでご案内します。体力にあわせ、ぜひチャレンジください!

コース
1

二つの石碑を結ぶ「石碑の路」コース。しっかり歩きたい方におすすめ!

金井沢碑・山上碑 × 万葉・歴史ロマンにひたる

金井沢碑と山上碑を結ぶ自然歩道は「石碑の路(いしぶみのみち)」と名付けられています。多少のアップダウンはありますが、全体的になだらかな山道で歩きやすく、トレイルランを楽しむ人の姿も見られます。

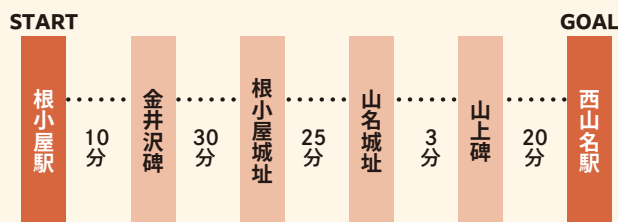
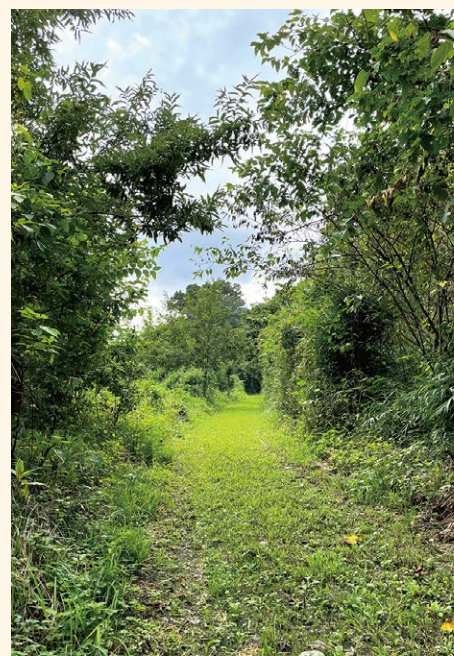
歩きながら楽しんでほしいのが、たくさんの歌碑。万葉集の中から、上野国にちなんだ和歌を多く詠み込んだ「いしぶみ」。伊香保やく佐野など地元の地名が刻まれて遠い万葉の時代にも想いをはせます。

戦国の頃、観音山丘陵には多くの城が存在しました。このコースにも「根小屋城址」と「山名城址」があります。残念ながら遺構を残すのみですが、武士たちがかけぬけたであろう道のり、守りを固めた城郭、そこからの眺望など戦国ロマンの想像力をかき立てます。



石碑の路(いしぶみのみち)

高崎自然歩道22キロのうち約5キロ、万葉集などを刻んだ歌碑が29基ならんでいます。石碑のカタチはさまざま、隣に読み下し文も用意されているので解りやすく詠むことができます。歩き疲れたひとときの休息にぴったりです。



●約6kmのコース



根小屋城址・山名城址

観音山丘陵には、5ヵ所の城址があります。寺尾上(てらおかみ)城、寺尾中(てらおなか)城、茶白山(ちやうすやま)城、根小屋(ねごや)城、そして山名(やまな)城です。現在の根小屋城・山名城の城跡は山林などになっていますが、曲輪(くるわ)、土塁、堀切、竪堀、横堀などの遺構がみられます。



コース
2

西山名駅から山上碑～山名八幡宮へ。田んぼと電車がコラボする眺望のあるコース。

山上碑 × 様々な祈りのカタチに出会う

山名地区には辻や道ばたに塔や石仏などが多くあります。これはかつて街道を行き交う旅人の安全と地域を守るためつくられたもの。このコースには、三本柱に建つ立派なお堂に真っ赤な頭巾と前掛けが目を引きくお地藏様(山ノ上地藏尊)や、田舎道の脇に貼り付いた不思議な祠に納められた阿弥陀様などが祀られています。



山上碑は石段の先にあります。段数の多さにひるむ気持ちを奮い立たせて上っていくと、山上碑と古墳の正面に着きます。古墳の石室には馬頭観音が祀られ、ここにも祈りの形があります。



安産子育ての宮「山名八幡宮」

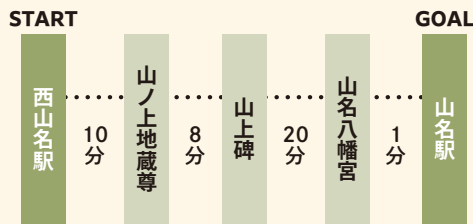
大きな鳥居を抜けると、上信電鉄の線路をくぐるトンネルがあり、その先に八幡宮はあります。立派な彫刻に飾られた本殿をみれば、安産・子育ての神社として昔から地域に親しまれてきた由緒ある場だとわかります。現在はリニューアルし、昔ながらの建物の雰囲気を活かしながらスタイリッシュな趣です。境内には親子で入れるカフェや、こだわりのベーカリーがあります。お守りなどもデザイン性に富み、手に取りたくなります。



● 高崎市山名町1581 ● TEL.027-346-1736

【ミコカフェ (mico cafe)】

● 山名八幡宮 参集殿2F ● TEL.027-395-0399
● 営業時間:11:00~15:00 (L.O.14:00)
● 定休日: 土曜日・日曜日・祝日



● 約3kmのコース

コース
3

馬庭駅からのんびり田舎道コース。いしぶみの里公園の散策だけでも満足の◎。

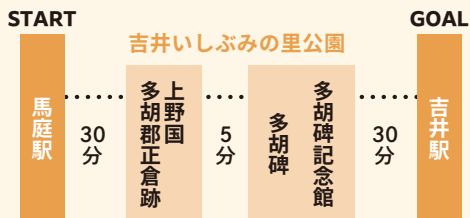
多胡碑 × 歴史を学び感じる

山の中腹にあるほかの碑とは違い、多胡碑は緑あふれるく吉井いしぶみの里公園)の中にあります。足を踏み入るとそびえ立つ樹木の大きさに圧倒され、空気が変わるのがわかります。隣接した建物は多胡碑記念館になり、上野三碑(原寸大)のレプリカや碑文の説明があるほか、近年多胡碑の南で発見された国史跡「上野国多胡郡正倉跡」の解説もあるなど、新しい発見がみつめています。



公園内には移築された古墳や古代蓮の池もあり、自然と歴史を楽しみながらの散策です。

馬庭駅と多胡碑を結ぶ道のりは、川べりの遊歩道や牛が草を食む田舎道。広い空とのんびり空気を満喫するにはもってこいです。



● 約4kmのコース

多胡碑記念館

形、大きさ、材質などあらゆる角度から、上野三碑を紹介しています。周辺の遺跡から出土した考古資料も展示するなど古代多胡郡を知る上で貴重な施設です。ミュージアムショップで手に入る上野三碑マスコットキャラクター「コウズケ3ピース」の激レアグッズも見逃せません。

● 高崎市吉井町池1085 ● TEL.027-387-4928
● 営業時間:9:30~17:00(入館16:30まで)
● 定休日: 月曜日(祝日の場合は翌日)・12/28~1/4
● 観覧料: 上野三碑のユネスコ「世界の記憶」登録を記念し、令和4(2022)年3月31日(木)まで無料

今年もスタンプラリーによる開催が決定しました！ 第13回キングオブパスタ2021

高崎市のもてなし広場で開催され、1日に1万人以上の人を集める人気のイベントであるキングオブパスタを、心待ちにしている方も多いと思います。

昨年のキングオブパスタは、新型コロナウイルスの感染予防の観点から、例年とは違う形式での実施となりました。感染拡大防止対策により深刻な影響を受けた飲食店の力になりたいということもあり、実際に店舗に行ってパスタを食べるスタンプラリー形式での実施となり、大きな反響があったので今年もスタンプラリーによる開催となりました。

開催期間中、参加店に置かれたスタンプラリーの台紙に気に入った店舗を記入後そのまま投函できるので誰でも気軽に投票ができます。投票した方の中から、抽選で参加全店舗で使えるお食事券がプレゼントとなるのも嬉しいです。パスタを通じた高崎の食文化の発展を図ることを目的としてきたキングオブパスタで、コロナ禍であっても高崎のパスタ店を応援できる企画です。

※参加店舗は、キングオブパスタのホームページをご覧ください。

●お問い合わせ

キングオブパスタ実行委員会
〒370-0849群馬県高崎市八島町265
TEL 027-323-2868 FAX 027-325-5201
<https://www.kingofpasta.jp> / E-mail info@kingofpasta.jp



※前回の様子

【開催期間】

2021年10月1日(金)~11月30日(火)

●参加方法: 参加店で対象メニューを食べ、スタンプラリー台紙にシールをもらってください。台紙1枚につき3店のシールが集まったら、郵送にて投票できます。

●参加特典: 投票してくれた中から抽選で40名様に、参加店全店で金券として使用できる5,000円分のお食事券をプレゼント。

心に響く新しい"アート"の"日常。生活の中でアートは着実に大きく豊かになっています。

ART PROJECT TAKASAKI 2021

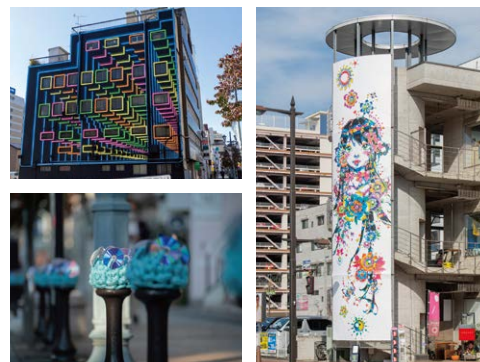
私たちが新しい生活様式を受け入れてから、1年半になろうとしています。その間、私たちはアートとどのように向き合ってきたのでしょうか。ストレスや緊張感がつきまとう日常において、アートの力は、必要不可欠な空気や水のように常に私たちの心の中にあり続けていたのではないのでしょうか。

高崎の街に数多くの作品が並ぶ、APT(アートプロジェクト高崎)の季節がやってきました。かつては当たり前だった様々な営みが制限される息苦しさの中でも、アーティストたちは決してひるむことなく新しい表現を模索し、強いメッセージを發し続けています。こうした個性的な作品群は、私たちの心に力と豊かさをもたらし、新しい街の姿を形作っていくことでしょう。

今回のアートプロジェクト高崎2021には、過去最多となる35人(予定)のアーティストが参加します。彼らの作品の一つ一つ、私たちが生活を営む街(ストリート)とが連結して響き合うストリートアートの魅力を、ぜひお楽しみください。

●お問い合わせ先

アートプロジェクト高崎(株式会社ラジオ高崎内)
TEL.027-322-9195 <http://taka-art.jp/2021/>



2020年の作品

【開催期間】

2021年10月30日(土)~11月28日(日)

【会場】

・西口ペDESTリアンデッキ・モントレー壁面・高島屋ウインドー・旭町ビル壁面・OPA大型ビジョン・慈光通り・NODE33・井上病院壁面・アイディーコート1F・丸善第一ビル・タブノキ広場・飛龍の松前広場など

あふれる光を楽しむ、冬を鮮やかに彩るイルミネーション

高崎光のページェント2021



※前回の様子

今年で28回目を迎える高崎光のページェント。子どもから大人まで年齢を問わず楽しめる光の演出が高崎の街に広がるイベントです。

シンフォニーロードには樹木を彩るシャンパンゴールドの光があふれ、慈光通りには華やかな光のアーチが、キラキラと通りを彩ります。二つの通りは、車からの眺めも素晴らしく、カーブや角を曲がった瞬間に見えてくる無数の光には心躍る驚きがあります。

お堀エリアには、エリア毎に趣向を凝らした演出があり、樹木へのライトアップなどが水面に映し出す幻想的な風景が楽しめます。

恒例となった市内の保育園・幼稚園・認定子ども園の園児たちが作った光のキャンパスの展示を心待ちにしている方も多いでしょう。この時期限定のページェントが今年も楽しみです。

●お問い合わせ

高崎光のページェント実行委員会

TEL 027-330-5333 (一般社団法人 高崎観光協会内)

※開催期間等詳細については決定次第ホームページにてお知らせします。

お正月1日・2日は、高崎駅西口駅前通りで1年の幸せを願う

高崎だるま市

二百年以上の歴史を誇る伝統工芸品である「高崎だるま®」は、顔に日本の吉祥の象徴である鶴亀があしらわれており、縁起物と言われ福を呼び込みます。「高崎だるま市」ではそんな縁起のいいだるまに、日本で一番早く出会えます。

今回も新型コロナウイルスの感染防止対策を徹底した上で伝統的な高崎だるまの他、干支だるまやカラーだるまなど、大小様々なだるまを販売しますので、お気に入りのだるまをお選びいただけます。また、ステージイベントや特大だるま展示、お楽しみ抽選会、絵馬の配布など高崎だるま市ならではのイベントが盛りだくさんです。



※前回の様子



●お問い合わせ

高崎だるま市実行委員会 TEL 027-330-5333 (一般社団法人 高崎観光協会内)

日常にある幸せは そこに柔らかく存在する bien cuit

ピアンキュイ



[PICK UP] ●カンパーニュ ホール 1,000円(税込)
●ドライフルーツナッツ入り ホール 1,600円(税込)

豊かな時間に育まれる美味しさ

のどかな田園風景の広がる吉井地域、上信電鉄“西山名”と“馬庭”の駅、ちょうど中間くらいにある「ピアンキュイ」は、決して偶然にはたどり着けないような場所にあります。しかし表に積まれたたくさんの薪と煙突はここが特別な場所であるという目印となっています。

形の良い大きなピワの木の枝をくぐると、「ピアンキュイ」の世界が広がります。ピワの木の向こうに菜園があり、フレッシュなハーブや野菜が植えられていて、根っこしか見たことのないゴボウが大きな葉や長く伸びた茎を見せてくれていました。野菜ばかりでなく植えたばかりのミモザも生き活きと育っていました。

勝手に推しのセレクトパン

「ピアンキュイ」のパンの種類は“カンパーニュ”と“カンパーニュドライフルーツ・ナッツ入り”の2つだけです。全部が推しのパンなのです！

藤岡市の秋山農園さんの小麦、自家製天然酵母、海水100%日本の伝統海塩“海の精”を使って作られた丸く大きなカンパーニュ。生地はぎっしり密度が高くて重たい、1カットでお腹いっぱいになるパンです。外側はしっかり固めですが、中はしっとりもちもち。噛むほどに増す甘みとほのかな酸味、親しみ深い群馬の小麦の味が口いっぱいに広がります。スライスして冷凍すれば2週間程度の保存ができると聞きました。保存期間によって酸味やパンの味が変わるのがとても面白く、味わうのが楽しみになります。

店主の田中さんの生活のベースとなっているのは、フランスでの経験だそう。食べたいパンを作りたい、そう思って地元の粉を使ってカンパーニュを作り始め、薪で焼くということに惹かれたので自分で窯を作りパンを焼くようになりました。また、田中さんは、カンパーニュに使う小麦を作っている秋山農園さんに出向き、農作業のお手伝いもしています。秋山農園さんは農業に頼らない自然栽培で農業を行っています。

自らの手で、目で、確かめて、食べたいものを作りたい、その美味しさをいろんな人に知って欲しい、という店主田中さんの思いが感じられます。パンの他にビスケットも販売していますが、そのビスケットを噛みしめるとプワッとナチュラルな甘みが口いっぱいに広がり、美味しくてずっと食べていたいと思うものでした。そこに美味しいジャムが添えられると、ますます美味しくなる。お店ではそんな提案をしていきたいのだそうです。

日常にある幸せを感じるということ

しとしとと雨の降る日に伺いましたが、美しい菜園を見ながら入った店内は柔らかな光の差し込む居心地の良い空間でした。美味しいパンができて上までの話をレンガの床と白壁のとても清潔感のあるアトリエでお聞きしました。まるで音楽でも流れているかのようなゆったりとした時間の流れに身をゆだねるうちについつい長居。田中さんが自らの手で改築した店内は、漆喰の壁がとても明るく、窯の蓄熱のせいかわかほかに暖かい。お話の面白さ、興味深さもあいまって訪れるお客様も、どの方も田中さんとのコミュニケーションを楽しんでいることがよくわかりました。

田中さんは、このお店でいろんな方と関わり、話をしながら、日常にある幸せを感じて欲しいと思っているのだそうで、将来的には食の楽しみを提案できるようなお店にしていきたいとも考えています。ピワの木の下をくぐったら、まるで別世界。包み込まれた瞬間に何気ないものがとてもやさしく美しく、丁寧に育まれた日常がキラキラと柔らかな光を放つように感じました。



【bien cuit(ピアンキュイ)】

- 高崎市吉井町小暮590
- TEL 080-8706-4677
- 営業時間: 10:00~売り切れ終了
- 営業日: 土・日曜日(※7~9月休業)



高崎観光協会 会報 秋号 Vol.156 令和3年10月1日発行

発行 一般社団法人 高崎観光協会
高崎市八島町222(高崎モンレー2階) Tel.027-330-5333
http://www.takasaki-kankoukyoukai.or.jp
制作 株式会社原人社



AUTUMN
2021

Kankou Takasaki / PAGE. 08